

[平成11年 第3回定例会]-[07月06日-06号]-P. 343

◆6番(青山圭一) それでは、通告しておりました2点につきまして一問一答で質問をいたします。

まず最初に、建設局長に平瀬川支川及び五反田川放水路についてお伺いいたします。平瀬川支川の最上流部である多摩区長沢地区は、周辺の急速な開発により多くの緑が失われ、近年、たびたび水害に見舞われるようになっております。特に実際の被害を例に挙げてみますと、平成6年7月の大雨のときには、長沢53号線の東長沢交差点付近を中心に道路冠水や床下、床上水害が発生し、地域は大きな被害をこうむりました。長沢地区の雨水はすべて平瀬川に最終的に流れ込んでおります。したがって、平瀬川支川の改修工事は地域の悲願であり、また急務であると思われまます。

次に、五反田川放水路工事についてであります。まず五反田川は麻生区細山地区内を源とし、細山調整池を経て小田急線に沿って蛇行しながら流下し、東生田地内で二ヶ領本川に合流する流路延長4.8キロメートル、流域8平方キロメートルの都市河川でございます。また、五反田川は、洪水時におきまして下流まで約20分で流下する高低差の著しい山地性河川でもあります。このため、五反田川の下流部及び二ヶ領本川との合流部では、急激な水位上昇により、たび重なる水害を繰り返してまいりました。五反田川下流の二ヶ領本川は、高度に都市化された地域を貫流しております。特に河川上空を主要地方道が占用していたり、沿線には家屋、そしてモノレール等の施設がある区域につきましては、河川拡幅、掘削による河川改修は不可能な状況になっております。このようなことから、平瀬川水系全体計画では、水系全体の抜本的取水対策といたしまして、平瀬川二ヶ領本川の流量の負担を軽減させるために、五反田川の洪水を直接多摩川に放流する五反田川放水路計画が立案され、現在工事が行われているところでございます。地域の人々にとりまして一日も早い工事の完成が待たれるわけでございます。

そこで、建設局長にお伺いいたしますが、平瀬川支川及び五反田川放水路の計画と今までの整備状況及び今年度の事業費並びに今後の整備の見通しについてお伺いいたします。

○議長(小泉昭男) 建設局長。

◎建設局長(引野憲治) 平瀬川支川及び五反田川放水路についての幾つかのご質問でございますが、初めに、平瀬川支川は延長2,330メートルの河川で、菅生小学校付近の本川との合流点から主要地方道横浜生田まで約780メートルを改修しておきまして、改修率は33%でございます。

今後の整備計画でございますが、主要地方道横浜生田からマリアンナ医大前交差点までの整備区間約550メートルのうち、今年度より下流側の約120メートルの工事に着手し、今後、順次上流に向け整備をしてまいります。また、マリアンナ医大前交差点から多摩区長沢4丁目地内の約1,000メートルの区間につきましては、多自然型川づくりを計画しておきまして、今年度より流域の基礎的調査として、水量、水質、植生などの自然環境や川と地域とのかかわりにつきまして調査を行う計画でございます。なお、本年度の事業費は約3億円となっております。

次に、五反田川放水路についてでございますが、五反田川放水路は東生田小学校付近か

ら分流し、五反田川と多摩川の水位差を利用して、洪水を直接多摩川に流下させる延長約2キロメートル、内径約8.7メートル、深さ約40メートルの地下トンネル河川でございます。放水路の整備につきましては、平成9年度から立て坑に着手し、本年度は分流部の立て坑内の掘削工事を行っているところでございまして、事業費は約9億円でございます。

次に、平瀬川支川、五反田川放水路の今後の整備見通しにつきましては、地域住民のご理解、ご協力は不可欠であり、多大な事業費も必要でございますので、厳しい財政状況下ではございますが、事業費確保につきまして国等にも強く要望し、事業の推進に努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（小泉昭男） 青山議員。

◆6番（青山圭一） ご答弁ありがとうございました。平瀬川支川の整備につきましては、これから事業が進む中で、地域の方々と市との間で用地買収の折衝が行われていくわけでございますが、多摩区におきましても、早く用地を買収してほしいとの声も聞かれます。また、平瀬川支川、五反田川放水路整備につきましては、財政も大変厳しい状況でございますが、災害があつてからでは遅いわけでございますので、地元の方からの要望も強いものであります。ぜひ両事業の推進につきましてご尽力されるよう要望をさせていただきます。

次に、市民局長に行政サービスコーナーについてお伺いをいたします。川崎市長より平成11年5月11日付で、川崎新時代2010プラン新・中期計画が発表されましたが、それによりますと、重点的対応課題の一つといたしまして、分権型社会の実現を目指すために、具体的に3つの事業を掲示されております。まず第1に区パートナーシップ街づくり事業の推進、そして第2に区役所機能の拡充、そして第3に行政サービスコーナーの拡充とあります。この第3番目の行政サービスコーナーの拡充事業につきましては、市民の日常生活にとりまして身近で利用目的が多いと考えられます住民票、そして印鑑証明また戸籍謄本、抄本等の証明の交付に対します土曜日、日曜日、祝日等の交付サービスや複数の交付可能場所の設置の実現につきまして、市民より大変根強い要望があるのが実情でございます。現在、この行政サービスコーナーは、川崎区では川崎駅、中原区におきましては武蔵小杉駅、高津区では溝口駅の3カ所に設置をされているということでございますが、各設置場所での利用状況、また年間にかかるコスト、そして市民へのPRの状況につきましてお伺いをいたします。なお、利用条件につきましては、他の議員との質疑応答の中でわかりましたので、答弁は結構でございます。

○議長（小泉昭男） 市民局長。

◎市民局長（飯村富子） 行政サービスコーナーについてのご質問でございますが、初めに年間の運営経費でございますが、行政サービスコーナーの主な運営経費は、施設の賃借料、機器の使用料及び非常勤職員の人件費でございます。溝口行政サービスコーナーを例にとりますと、平成10年度の総計費は約2,600万円となっております。

次に、行政サービスコーナーのPRについてでございますが、市民の皆様のご利用の多

い区役所や図書館，市民館などにチラシを置き，行政サービスコーナーのPRを行ってきたところでございます。行政サービスコーナーのご利用は毎年着実にふえておりますが，昨年12月に区役所，支所，出張所などの窓口で，約1,600人の市民の方々に行政サービスコーナーについてのアンケートを実施いたしましたところ，約54%の方から行政サービスコーナーを知らないという回答がございました。一方，知っていると答えた方の約53%の方は，市政だよりやかわさき生活ガイドあるいはチラシにより知ったという回答がございました。このような結果から，本年3月に再度チラシを配布いたしますとともに，小杉行政サービスコーナーに案内板を設置するなどPRを行ったところでございます。今後も市民の皆様幅広くご利用いただけるよう，一層のPRに努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（小泉昭男） 青山議員。

◆6番（青山圭一） ご答弁ありがとうございます。行政サービスコーナーの利用者が，毎年ふえているという一方で，実際に利用価値の高いサービスコーナーをまだ知らない市民も多数存在しているということは，大変残念に思われることでございます。ぜひこうしたすばらしい施設を市民の皆様幅広く積極的に利用していただけるよう，さらなるPR活動の推進を期待いたします。また，こうした積極的な働きかけこそが真の行政サービスにつながるものと考えます。

さて，多摩区におきましても，登戸駅周辺に行政サービスコーナーを設置するという計画が，先ほども取り上げました資料，川崎新時代2010プランに明記されておりますが，現在の進捗状況をお伺いいたします。

○議長（小泉昭男） 市民局長。

◎市民局長（飯村富子） 登戸駅周辺行政サービスコーナーについてのご質問でございますが，行政サービスコーナーは，市民の皆様が通勤や買い物などの折に，利用頻度の高い住民票の写しや印鑑登録証明書などの証明書が請求できるように，交通の要所となっております駅周辺に設置しているものでございます。JR南武線と小田急線が交差しております登戸駅は，利用する方も多く，また周辺は商店街となっておりますことから，その必要性が高いと考えており，新・中期計画の中に位置づけたところでございます。現在，登戸駅周辺では区画整理事業が行われており，事業が進みますと登戸駅前に新しいビルが建つということも伺っております。したがって，登戸駅周辺の設置につきましては，このような区画整理事業の進捗状況を見ながら準備を進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（小泉昭男） 青山議員。

◆6番（青山圭一） 登戸駅周辺の行政サービスコーナーの設置につきましては，区画整理事業の進捗状況を見ながら準備を進められるというご回答でありましたが，平成9年度

の登戸駅乗降客数は1日当たり小田急線，JR線，それぞれ約7万人の利用客があり，合計いたしますと1日で14万人という報告が出ております。この数字を考えましても明らかなように，行政サービスコーナーの利用者は潜在的に非常に多いと予測をされます。また，小田急線沿線におきましては，こうした行政サービスコーナーの設置はまだないのが現状でございます。小田急線沿線に住む川崎市民の方々にとりましては，この行政サービスコーナーの恩恵を受けられない状況にあります。ぜひ一日も早い設置に向けて取り組んでいただけますよう強く要望をいたしまして，質問を終わらせていただきます。